

# 水田雑草（コナギ）対策の試験結果



コナギ

お盆が過ぎた頃から福井県内では、ハナエチゼン（早生品種）の稲刈りがあちらこちらで見受けられました。コシヒカリはと言いますと、田植えの早かった所ではお盆前から稲穂が黄金色に色づき始め、8月末頃から稲刈りが始まっております。全体の作況指数や品質なども気になるところです。

自然・有機農法をされている水稻農家で厄介なのが除草作業ではないでしょうか。㈱EM研究所は数年前より、北陸4県（新潟・富山・石川・福井）の技術提携農家でEMを活用したコナギ抑草試験を実施しております。EMの使用量や散布するタイミング、圃場の管理条件、トラクターの扱い方等で結果は異なりますが、コナギに関してはある一定の対策法が見えてきました。

写真①（7/5撮影・田植え6/3）



（コナギはほとんど出ていない）

## ☆成功事例☆

写真①は、福井県坂井市内の試験圃場（面積 30a） | 農家

### 作業① 上質なEM活性液を田植え前に2回散布

（1回目 60L 4/30 ・ 2回目 60L 5/15）

### 作業② ドライブハローにて2回代かき

（荒代かき 5/5 ・ 植代かき 5/30）



写真②（8/27撮影）



### 状況

昨年まではコナギが旺盛で何回も除草作業をしていたが、今年30aに対して手取り除草1回（2時間くらい）のみ

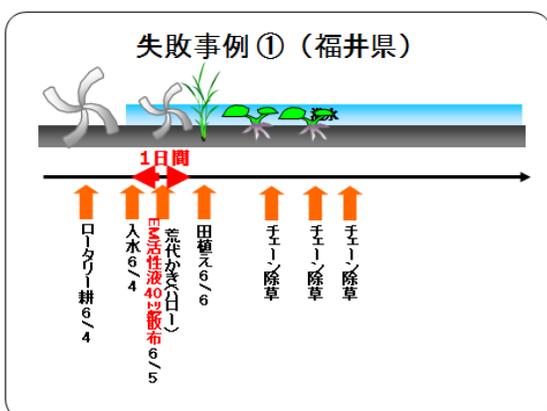
### （使用例）

- ① 20L/10aのEM活性液を1回目は早めの入水時に散布して荒代かき。
- ② 約10日間後に2回目のEM活性液を散布。
- ③ そのままの状態を2週間くらいおく。
- ④ 丁寧な植代かき（コナギ等の雑草をできるだけ旺盛にした状態で）

荒代かきから植代かきまでの水管理はひたひた状態に

**EMの力で草を早く成長させ、ハローにて練りつぶすイメージ**

◎下図は失敗例・・・EMの使用量・散布する時期及び代かき作業のタイミングを間違えると写真③のように田植え後の草が旺盛に！



写真③

